

アプリケーション活用 課題1

【課題】平成16年7月11日に執行された、第20回参議院議員通常選挙について、各党の獲得票数のデータを総務省HP等から取得せよ。通常、各党の獲得議席数は、獲得票数から切り捨て法（最大除数法、Jefferson法、d'Hont法）により決定されているが、これを以下にあげる5つの別の方法で行った場合、結果がどのように変わるか。各方法の実施方法についてそれぞれ調べ、各々の方法で計算し、結果を比較せよ。

1. 最大剰余法（Hamilton法、Vinton法）
2. 切り上げ法（最小除数法、Adams法）
3. 四捨五入法（奇数法、過半小数法、Webster法、Saint-Lague法）
4. 幾何平均法（均等比例法、Hill法、Huntington法）
5. 調和平均法（Dean法）

なお、名称は手法の意味から分類されており、括弧の中の名前は最初に提案された当時の名称などである。

【Excelでの表作成方法】

1つのブック（book）に6枚のシート（sheet）を用意し、2～6枚目のシートにおいて、各方法による獲得議席数の計算をする。1枚目のシートに最終的な結果の表を作成し、比較考察をする。表の作り方等は任意。シートの書き方は以下のようにすること。

Sheet1〔シート名：方法と比較〕**各方法の説明**を書き、Sheet2～6の結果（党派別獲得議席数）を**まとめた表**を作成し、**比較・考察**する。書き方は任意。授業で計算させた「切り捨て法」の結果をコピーして入れることを忘れないように！

Sheet2〔シート名：最大剰余法〕最大剰余法の計算用のシート

Sheet3〔シート名：切り上げ法〕切り上げ法の計算用のシート

Sheet4〔シート名：四捨五入法〕四捨五入法の計算用のシート

Sheet5〔シート名：幾何平均法〕幾何平均法の計算用のシート

Sheet6〔シート名：調和平均法〕調和平均法の計算用のシート

【切】火曜1限クラス、金曜1限クラス とともに5月17日(水)20:00 必着

【提出方法】e-mail宛先：khotta@shonan.bunkyo.ac.jp（Excelファイルを添付して提出）

なお、メールのsubjectには「アプリケーション活用 課題1」と書くこと